



平成23年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年4月7日

上場会社名 **ダイト株式会社**
 コード番号 4577 URL <http://www.daitonet.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笹山 真治郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員経営企画室長 (氏名) 大津賀 保信

TEL 076-421-5665

四半期報告書提出予定日 平成23年4月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年5月期第3四半期の連結業績(平成22年6月1日～平成23年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年5月期第3四半期	18,392	9.0	1,547	24.5	1,496	30.3	822	23.3
22年5月期第3四半期	16,875	7.0	1,242	14.2	1,148	17.4	666	24.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年5月期第3四半期	91.82	—
22年5月期第3四半期	92.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年5月期第3四半期	29,545	10,272	34.8	1,146.88
22年5月期	27,715	9,644	34.8	1,076.71

(参考) 自己資本 23年5月期第3四半期 10,272百万円 22年5月期 9,644百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年5月期	—	—	—	20.00	20.00
23年5月期	—	0.00	—	—	—
23年5月期 (予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年5月期の連結業績予想(平成22年6月1日～平成23年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,770	9.2	1,800	24.1	1,700	33.8	950	26.3	106.06

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年5月期3Q	8,956,968株	22年5月期	8,956,968株
② 期末自己株式数	23年5月期3Q	206株	22年5月期	57株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年5月期3Q	8,956,821株	22年5月期3Q	7,186,911株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国などアジアの新興国の需要増加や国内における政策支援の効果等により、全体としては緩やかな回復基調にあったものの、雇用情勢や所得環境は依然として厳しく、デフレの長期化や円高、原材料高等の懸念要因もあり、先行きの不透明感をもって推移いたしました。

医薬品業界におきましては、本年4月に実施された薬価改定の影響等により、各社にとって厳しい環境下での推移となった一方で、政府による調剤報酬改定をはじめとした施策の影響により、ジェネリック医薬品市場の拡大傾向がみられております。

このような状況のもと、当社グループは生産活動の充実を図りながら積極的な営業活動を展開いたしました。

売上高の販売品目ごとには次のとおりであります。

原薬では、一部の既存品目の販売の減少等がみられたものの、消化性潰瘍剤原薬、血管拡張剤原薬、糖尿病用剤原薬及び精神神経用剤原薬などのジェネリック医薬品向け原薬の販売が好調に推移し、売上高は11,213百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

製剤では、医療用医薬品において、国内大手医薬品メーカーからの製造受託が概ね堅調に推移したほか、自社開発のジェネリック医薬品の販売が全般的に好調に推移いたしました。また、一般用医薬品においては、市場自体の伸び悩み等の影響を受けながらも、大手医薬品メーカー等への販売が比較的順調に推移いたしました。これらにより、製剤の売上高は6,920百万円（前年同期比16.6%増）となりました。

健康食品他につきましては、価格競争等の要因により、厳しい状況で推移し、売上高は258百万円（前年同期比13.2%減）となりました。

これらの結果、当社グループとしての売上高は18,392百万円（前年同期比9.0%増）となりました。

営業利益につきましては、研究開発費及び人件費の増加等がみられた一方で、工場の稼働率の向上や経費削減に取組んだことにより、1,547百万円（前年同期比24.5%増）となりました。

経常利益につきましては、支払利息の減少や、受取配当金及び為替差益の計上等により、1,496百万円（前年同期比30.3%増）となりました。また、特別利益として補助金収入がありましたが、投資有価証券評価損及び固定資産圧縮損の計上等により、当第3四半期連結累計期間の四半期純利益は822百万円（前年同期比23.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より1,829百万円増加し、29,545百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加734百万円、仕掛品の増加268百万円、原材料及び貯蔵品の増加540百万円並びに有形固定資産の増加892百万円などがあった一方で、現金及び預金の減少806百万円などがあったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末より1,201百万円増加し、19,273百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加674百万円や長期借入金の増加731百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より628百万円増加し、10,272百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加643百万円によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末と変わらず、34.8%となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末より807百万円減少し、1,799百万円（前年同期比395百万円の減少）となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,411百万円（前年同期比186百万円の減少）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,414百万円（前年同期比283百万円の増加）及び減価償却費1,465百万円（前年同期比28百万円の増加）の計上や仕入債務の増加額928百万円（前年同期比789百万円の増加）があった一方で、売上債権の増加額845百万円（前年同期比706百万円の増加）、たな卸資産の増加額832百万円（前年同期比514百万円の増加）及び法人税等の支払額419百万円（前年同期比222百万円の減少）などがあったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2,439百万円（前年同期比1,665百万円の増加）となりました。これは主に、生産設備の拡充に伴う有形固定資産の取得による支出2,302百万円（前年同期比1,522百万円の増加）があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は222百万円(前年同期比82百万円の減少)となりました。これは主に、短期借入金の純増加額210百万円(前年同期比1,006百万円の減少)及び長期借入れによる収入2,200百万円(前年同期比1,080百万円の増加)があった一方で、長期借入金の返済による支出1,468百万円(前年同期比256百万円の減少)、社債の償還による支出454百万円(前年同期比389百万円の増加)及びリース債務の返済による支出233百万円(前年同期比22百万円の増加)があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月期(平成22年6月1日～平成23年5月31日)の連結業績予想につきましては、平成22年12月27日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し第2四半期連結会計期間末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法としております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している有形固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益はそれぞれ2,594千円、税金等調整前四半期純利益は23,208千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は63,942千円であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,804,894	2,611,442
受取手形及び売掛金	7,659,816	6,924,963
商品及び製品	1,029,234	1,005,779
仕掛品	1,449,686	1,181,294
原材料及び貯蔵品	1,263,307	722,623
その他	596,989	527,975
貸倒引当金	△59,210	△89,231
流動資産合計	13,744,718	12,884,846
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,029,106	6,481,732
機械装置及び運搬具(純額)	3,327,908	2,321,089
その他(純額)	3,068,537	3,730,203
有形固定資産合計	13,425,552	12,533,025
無形固定資産		
	238,283	165,422
投資その他の資産		
投資有価証券	1,727,663	1,736,288
その他	478,323	455,363
貸倒引当金	△69,043	△59,179
投資その他の資産合計	2,136,943	2,132,472
固定資産合計	15,800,779	14,830,920
資産合計	29,545,498	27,715,767
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,127,100	2,452,764
短期借入金	3,172,000	2,962,000
1年内返済予定の長期借入金	2,296,473	1,973,266
未払法人税等	259,955	198,990
引当金	190,480	68,245
その他	2,980,593	3,649,974
流動負債合計	12,026,604	11,305,242
固定負債		
社債	230,000	80,000
長期借入金	4,912,014	4,504,113
退職給付引当金	335,746	379,611
その他の引当金	9,375	12,300
負ののれん	3,914	5,323
その他	1,755,451	1,785,155
固定負債合計	7,246,501	6,766,504
負債合計	19,273,106	18,071,746

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,565,103	2,565,103
資本剰余金	2,451,294	2,451,294
利益剰余金	4,931,888	4,288,585
自己株式	△222	△49
株主資本合計	9,948,063	9,304,933
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	324,635	339,241
為替換算調整勘定	△306	△154
評価・換算差額等合計	324,328	339,087
純資産合計	10,272,392	9,644,020
負債純資産合計	29,545,498	27,715,767

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
売上高	16,875,839	18,392,518
売上原価	13,985,813	14,854,580
売上総利益	2,890,026	3,537,937
返品調整引当金繰入額	2,385	3,103
差引売上総利益	2,887,641	3,534,833
販売費及び一般管理費	1,644,760	1,986,975
営業利益	1,242,881	1,547,858
営業外収益		
受取利息	169	43
受取配当金	27,834	34,562
負ののれん償却額	2,250	1,409
為替差益	30,512	23,533
その他	39,066	39,261
営業外収益合計	99,833	98,809
営業外費用		
支払利息	170,921	135,802
その他	22,944	14,020
営業外費用合計	193,866	149,823
経常利益	1,148,848	1,496,844
特別利益		
投資有価証券売却益	1,223	197
貸倒引当金戻入額	820	31,122
固定資産売却益	41	39
補助金収入	66,666	67,860
特別利益合計	68,751	99,220
特別損失		
固定資産売却損	3,683	349
固定資産除却損	14,476	60,748
投資有価証券評価損	5,816	33,616
固定資産圧縮損	62,450	62,734
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	20,614
その他	251	3,690
特別損失合計	86,679	181,753
税金等調整前四半期純利益	1,130,920	1,414,311
法人税等	463,994	591,869
少数株主損益調整前四半期純利益	—	822,441
四半期純利益	666,925	822,441

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,130,920	1,414,311
減価償却費	1,436,364	1,465,128
のれん償却額	1,790	—
負ののれん償却額	△2,250	△1,409
貸倒引当金の増減額(△は減少)	796	△23,847
賞与引当金の増減額(△は減少)	73,292	133,557
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△23,360	△11,323
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△34,340	△43,864
受取利息及び受取配当金	△28,004	△34,606
支払利息	170,921	135,802
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,051	△197
投資有価証券評価損益(△は益)	5,816	33,616
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	20,614
売上債権の増減額(△は増加)	△138,700	△845,552
たな卸資産の増減額(△は増加)	△317,577	△832,530
仕入債務の増減額(△は減少)	138,685	928,099
その他	△116,344	△458,047
小計	2,296,958	1,879,749
利息及び配当金の受取額	28,149	34,606
利息の支払額	△156,625	△129,936
その他	71,536	46,481
法人税等の支払額	△642,596	△419,797
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,597,422	1,411,102
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	136,500	6,000
定期預金の預入による支出	△44,500	△6,500
有形固定資産の取得による支出	△779,888	△2,302,627
無形固定資産の取得による支出	△44,657	△70,389
有価証券の売却による収入	3,133	390
有価証券の取得による支出	△62,804	△51,943
その他	18,219	△14,431
投資活動によるキャッシュ・フロー	△773,996	△2,439,500

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成23年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	1,216,000	210,000
長期借入れによる収入	1,120,000	2,200,000
長期借入金の返済による支出	△1,725,603	△1,468,892
社債の発行による収入	79,372	148,823
社債の償還による支出	△65,100	△454,500
配当金の支払額	△107,779	△178,497
自己株式の取得による支出	—	△173
リース債務の返済による支出	△211,027	△233,884
財務活動によるキャッシュ・フロー	305,861	222,875
現金及び現金同等物に係る換算差額	△237	△1,525
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,129,050	△807,047
現金及び現金同等物の期首残高	1,066,402	2,606,942
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,195,453	1,799,894

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当第3四半期連結会計期間(自平成22年12月1日至平成23年2月28日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成23年2月28日)

当社の報告セグメントは、「医薬品事業」のみであり、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。